

健康管理論	橋 爪 洋 教授
Nursing Management	有 田 幹 雄 非常勤講師
1 年次前期・選択	岡 檀 非常勤講師
2 単位・30 時間	山 内 慶 太 非常勤講師

【概要・目標】

健康事象を研究のみでなく、社会的活動も含めた総合科学的に論ずる。特に、高齢化に伴い増加する高血圧・糖尿病などによる心血管病を早期に予知・予防するための方策を遺伝的・環境的側面から論ずる。また、医療経済的な観点から健康・医療を評価する方法を学び、先進医療技術の導入のあり方、病院経営や施設経営における企画、実施、評価などのマネジメントの手法、和歌山県における健康増進活動の取り組みの現状等について、課題の解決方法などを具体的に検討し、創造力やコーディネートする力を育成する。

【授業内容のスケジュール】

(担当)

1) 疾病構造の変化と健康管理	有田
2) 循環器疾患の病態と疫学	有田
3) 循環器疾患のリスク要因 (遺伝素因と環境因子の影響)	有田
4) 生活習慣の修正がもたらす予防と改善の効果 (減塩・運動)	有田
5) 循環器疾患の健康管理の理論と実際	有田
6) 遺伝子診断と遺伝子治療	橋爪
7) 再生医療	橋爪
8) 内視鏡手術	橋爪
9) 悪性腫瘍に対する造血幹細胞移植	橋爪
10) 脳死下臓器移植	橋爪
11) 地域間格差の把握	岡
12) 地域間格差の要因分析	岡
13) ヘルスサービスの経済的評価①ーアウトカムの評価ー	山内
14) ヘルスサービスの経済的評価②ーコストの把握ー	山内
15) ヘルスサービスの経済的評価③ー具体的方法ー	山内

【評価】

資料収集、発表・討議 (30%)、レポート等 (70%) により総合的に評価する。

※評価責任者 橋爪教授

【教科書】

特になし

【推薦参考図書】

池上直己 『日経文庫 医療と介護3つのベクトル』(日本経済新聞社)

池上直己ほか監訳『医療の経済評価』(医学書院)

池上直己ほか『臨床のためのQOL評価ハンドブック』(医学書院)

【その他】